

特集

JAさっぽろ農業を共に支える

JAさっぽろ作目別専門部会 部会長ご挨拶

現在、JAさっぽろには六つの作目別専門部会があり、計五百二十九名の部会員の皆さんが活躍しています。

この春、各部会において三年に一度の役員改選が行なわれ、それぞれ新体制での活動を開始しました。各部会長から、就任にあたりご挨拶をいただきましたので、ご紹介いたします。

平成二十八年度各部会部員数

玉葱部会	百四十八名
そ菜部会	二百七十二名
果樹部会	四十七名
果実部会	十一名
花卉部会	二十八名
酪農畜産部会	二十三名

玉葱部会



部会長
大萱生 勝

『札玉ブランドを守りながら攻める』

三期目の玉葱部会長を引き受けることとなりました。

平成二十二年度より部会長を六年間務めてまいりましたが、その間、札幌の玉葱を巡る環境は大きく変化しています。北海道の玉葱は全国の出荷量の約半分を占めていますが、札幌の玉葱は少しずつですが確実に耕作面積が減少しています。二十七年度は天候に恵まれ近年になく反収も上がりましたが、市場価格の低迷が顕著となり大変厳しい状況となっています。良質な玉葱の安定供給を行なうことはもちろんですが、札幌の玉葱をどの様に販売していくかが、これからの玉葱生産の経営安定を築く第一歩だと考えています。貯蔵性は低いのが食味に優れている「札幌黄」、その品種に改良を加えた「さつおう」を先頭に札幌産の玉葱を内外にPRいたします。また、共計共販制度のメリットを最大限に活かしつつ、新たな試みをいとわず生産者と農協と関係機関が一体となって札玉ブランドを守りながらも攻めていく活動を行なっていきたくと考えております。それには生産者、部会員の皆さまのご協力なくしては実現できません。部会員の皆さまと共に実りある部会活動を実施していきたく思っています。今後ともよろしくお願いたします。

そ菜部会



部会長
新井 伸二

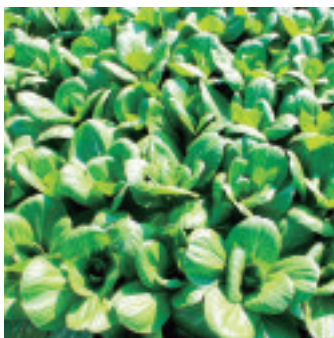
『充実した部会活動を』

この度、そ菜部会長という大役を引き受けることとなり、職務の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

近年の農業を取り巻く情勢を見ますと、農業従事者の高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増加等、深刻な問題に直面しています。また、異常気象などの頻発により、生産条件の悪化も見られ農業生産への影響が懸念されます。

そのような状況下、農作物を安定的に生産していくためには生産技術の更なる向上などが必要であるとも感じており、そ菜部会の活動を通じて相互研鑽に繋げていければと思います。

微力ではありますが、部会員皆さまのご協力を得ながら、より一層充実した部会活動を進めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



果樹部会



部会長
吉田 健一

『さらなる商質向上を目指して』

この度、四期目の果樹部会長を引き受けることとなり、身の引き締まる思いです。

TPPの大筋合意がなされ、ますます厳しい状況にあります。安全・安心な、より良い商品づくりに取り組み安定した収入に繋げていきたいと思っております。

部会員皆さまの知恵をお借りしながら一層当部会が発展できるよう盛り立てていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



果実部会



部会長
名島 敏美

『二大ブランドの継承』

この度、四期目の果実部会長を拝命いたしました。この度、二期目の花卉部会長を引き受ける事になり、責任の重さを今一度噛み締めているところであります。

部会員の高齢化や作付面積の減少、収量の低迷など状況は厳しいものですが、先代から受け継いだ『サッポロスイカ』『大浜みやこ』のブランドを末永く伝えるために、今期は集大成として生産技術の継承、事故対応のルール化、規約の見直し等、今まで見過ごしてきた事を整理して次に引き継ぎたいと思っています。引き続きご協力賜ります様お願い申し上げます。



花卉部会



部会長
木村 茂夫

『笑顔がもらえる花作り』

この度、二期目の花卉部会長を引き受ける事になり、責任の重さを今一度噛み締めているところであります。

二十七年程度までの三部体制（切花部、鉢物部、緑花木部）を廃止し、札幌市農協花卉部会と名称は同じでも、中身を整理し、新たな組織体制を作り上げました。

昨年度は、航空運賃の大幅な値上げにより、本州への出荷が相当な打撃を受けました。これを受け、花卉流通業界では現在、道内生産者のために輸送コストを低減した新たな輸送体制づくりに取り組んでくれています。この体制が確立されることにより、花の流通そのものが大きく飛躍出来ることと期待しております。さっぽろ花まつりは、農協・札幌市・生産者など多くの関係機関の方々の協力のもと、第四回を迎え、市民の方々に喜んでいただいております。今年度からは新事業として、フラワーウォークの推進に取り組み、消費者に花の魅力をどのように伝達していくかを農協・札幌市・部会員と協議していきたいと思っています。

札幌という大都市に恵まれている私達です。花の生産に追われて忙しい中でも市民との交流を重ねて、一人でも多くの方々の笑顔がもらえるように部会員一同、花作りに取り組んでいきたいと思っております。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

酪農畜産部会

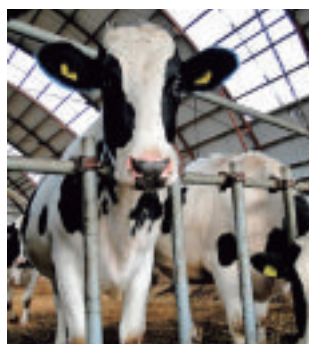


部会長
上野 裕一

『関連機関と連携し意識の向上を』

今年度、定期総会において酪農畜産部会長に選出されました。

酪農畜産に限らず、今の農業は先行き不透明なTTP問題と未曾有の少子高齢化・労働力不足の問題に直面しております。また、都市部における酪農・畜産経営は大変厳しく、後継者不足も相まって、生産者の減少は著しいものであります。その中で今後は酪農畜産部会の存在意義を考えながら関係諸機関と連携し、部会員の意識の向上に努めていきたいと考えています。これからは諸先輩方の知恵と各関係機関からの助言を頂きながら、次世代を担う若い部会員が興味を持てるような事業を展開し、部会員相互の理解と親睦を図りながら酪農畜産部会の活発な部会活動を展開していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。





小さな親切運動

水上平吉



この地に生まれて

篠路地区で生まれ育ち、今年九十五才を迎えた水上平吉さんは、これまで様々なボランティア活動に力を注いできました。真摯に取り組むその姿は多くの人々の目に留まり、表彰を受けた回数は三百回近くにも上る。所狭しと自宅に飾られた賞状や楯を眺めながら穏やかな微笑みを浮かべる。

「随分色々なことをやってきた。今思えば、自分でもよくやったと思っしょ」

水上家は、明治三十六年に富山県からこの地に入植。両親は未開の地を一人から開墾し、六男として水上さんが生まれた。現在は住宅が立ち並ぶこの辺りも、かつては一面に水田や畑が広がり、水上家も農業で生計を立てていた。

「うちは水田が三町五反、畑が一町五反程。雨が降れば水田、晴れば畑仕事という感じだったね」

兄がいたこともあり水上さんが農業

戦争で失われた多くの命

生きながらえた我が命

亡き戦友たちの分まで

社会のために尽くして生きる—



組合員紹介

を継ぐ予定はなく、学校卒業後は、郵便局に就職、その後国鉄に転職した。農業を継いだ兄の出征により、手伝いという形で農業に携わることになるが、もともと農業をやりたいという気持ちはなかったのだという。

戦争で亡くしたと思った命

終戦から七十年以上の時が経ち、戦争を知らない世代が増えてきた。当時を生き抜いた水上さんは、その頃の様子を振り返る。

「私は昭和十七年、二十一才の頃に兵役に就いてね。盛岡、旭川、千葉などの部隊に配属されたんだ」

国鉄出身を理由に鉄道連隊へ転属を命じられ、昭和十九年、タイ・ビルマ国境の泰緬鉄道復興工事のために出動命令を受けた。出発を目前に控える中、先発隊の船が敵の魚雷攻撃に合い沈没。多くの仲間が帰らぬ人となった。その後、東京大空襲後の片付けなどの任務につきながら後発の出動を待ったが、出発することなく終戦を迎えた。水上さんが生きながらえた一方で、失われた命は数知れず、家業を継いでいた兄も戦死した。

戦時中の経験は、後の人生に大きな影響を与えた。故郷である篠路の地に戻って来ることができた水上さんは、親孝行のため兄に代わり農家を継ぐことを決めた。また、農業の傍ら始めたボランティア活動も本業さながらに尽力することになる。

「同じ釜の飯を食べた多くの仲間が命を落とし、自分もそうなるものとずっと思っていた。一度は亡くしたと思ったこ

の命、戦友たちの分まで社会のために役立てようと誓ったんだ」

地域のために、人々のために

「最初はボランティアなんて言葉も知らなかった。聞けば社会奉仕だってわかってね。町の生活道路や神社の除雪をしたのがそもそもの始まりだよ」

三十年以上続けたという除雪活動は、早朝五時から三、四時間、一シーズンの出動は四十回以上にも及んだ。報酬などあるはずもない自主的な活動だったが、当初、あまりに熱心に取り組むその姿を見た人から「どれだけのお金をもらっているのか」と声を掛けられることも少なくなかったという。いつしかこの地域では、除雪に励む水上さんの存在が知れ渡り、「雪はねおじさん」という愛称で人々から親しまれるようになっていた。

「目についたことは何でもやらなきゃ気が済まない性格でね。小さな親切運動と思つて色々始めたよ」

「ゴミ拾いや地元小学生の農業体験、市民への農園開放、老人ホームへの野菜の寄贈など、自分に出ることであれば、惜しみなく力を注いだ。また、その活動は海を越え、遠く離れた鹿児島へ。南国の子どもたちに雪を知って欲しいと雪だるまや流水を贈る活動も始めた。水上さんが北国ならではの雪を贈ると、鹿児島からはお礼の手紙と共にサトウキビが届く。そんな交流が何十年も続いた。

「私の信条は一日一善、不言実行。言うは易し、行なうは難し」とはよくいったもので、口ではいくらでも言える。行

動しなくては」

続けてこそ意味がある

水上さんのこれまでの取り組みは、過去に何度も新聞に取り上げられてきた。古いものだと昭和三十年代までさかのぼる新聞記事は、全て切り抜いて大切に保管されている。

「どこで聞きつけたのか、昔は新聞の取材もよく来たもんだよ。今は、新聞や週刊誌は悪いニュースが中心でしょう。少し寂しいよね」

自分でも時々読み返しているという新聞記事。照れながらも「載るのは嬉しいもの」と笑顔を見せる。何度も取り上げられると覚えてくれる人もいるように、掲載される度に届く読者からの手紙は、活動を続ける上での大きな励みになってきた。

ボランティアで得る喜びがある一方、本業である農業や自分の生活を守りながらの活動は負担も大きい。しかし、水上さんが途中で投げ出すことは決してなかった。どんなに注目されても、自惚れ



▲自宅には、これまでに受け取った表彰状がずらりと並ぶ。



▲過去の新聞記事を懐かしそうに眺める水上さん。

ることなく自分に出来ることをひたむきに続けた。「ボランティアは十年、二十年続けてこそ意味がある。自分が苦勞しないと出来ないものなんだよ」数年前に足を痛めてからは、それまでと同じように活動することが難しくなってしまうという。「まだまだやりたい」そんな思いを残しつつもボランティア活動に区切りを付け、近頃は静かな毎日を送っている。長い間、社会のために尽くし奔走してきた生活を思い返しながら、昔のまま今も変わらない思いの丈を口にした。「偉い人にはならない、地域になくはならない人になる。国のために命を捧げた人々を思うと、その万分の一でも恩を返したい。その一心なんだ」

お忙しいところ、取材にご協力下さいました水上さん、ありがとうございました。
(二〇一六・四・二十二 取材)

平成28年度「1統括支店1協同活動」始動!

平成26年度から始まった、JAと組合員の絆作り、地域とのつながりの強化を目指す活動「1統括支店1協同活動」の取り組みが今年度も始まっています。組合員の皆さまをはじめ、たくさんの方の協力を得ながら、各地区の特色を活かした活動を行なっていきます。



5月9日(月)
北札幌統括支店 1統括支店1協同活動

丘珠小全校児童が玉葱の定植 「大きくな〜れ、札幌黄!」

北札幌統括支店では、丘珠小学校全校児童284名を招き、「札幌黄」玉葱の定植作業を行ないました。昨年から引き続き2回目となる今年は、同地区の組合員、相澤保さんの圃場をお借りし、定植した苗も組合員の方からご提供いただきました。当日は地区役員をはじめ、運営協力委員会、玉葱部会、青年部、女性部も参加して児童をサポート。児童は15cm程に育った苗を丁寧に植え付けました。昨年は豊作に恵まれ、たくさんの「札幌黄」を収穫できたことから、児童は「今年も大きく育て欲しい」と期待を寄せていました。



▲児童に植え方を教えるPTA会長の竹田裕さん。「札幌黄」を作付けする生産者の一人。



▲2年生から6年生までの児童は2回目の定植作業ですが、取り組み表情は真剣です。



▶「同じ幅を空けて植えようね」園児に植え方を教える横田さん。



▲種いもに土をかぶせる女性部の佐藤京子支部長と園児。「足で土をかけるのって難しいね」「がんばれ!がんばれ!」



5月17日(火)
琴似統括支店 1統括支店1協同活動

あづま幼稚園 年長園児 初めての馬鈴薯植え付け体験

琴似統括支店では、近隣のあづま幼稚園の年長園児128名を招き、馬鈴薯の植え付け体験を行ないました。西区発寒の横田光雄さんの圃場をお借りして行なうこの取り組みは今年で3回目。園児が農作業を体験できる貴重な機会となっていることから、幼稚園や父母からも毎年好評をいただいています。園児はバケツに入った種いもが配られると、慎重に畑へ。8個の種いもを畑に並べ、しっかりと土をかぶせました。今年の畑は大きな道路沿いにあることから、幼稚園バスからも馬鈴薯の成長を見守ることができます。秋には、再度園児を圃場に招き、収穫体験を行なう予定です。



毎年恒例、「苗物市」今年も9会場で開催!

5月14日(土)の北札幌、篠路地区を皮切りに今年も9会場で苗物市が開催されました。開催期間中は天候に恵まれたこともあり、例年をしのぐほどの盛況ぶりとなりました。各会場、開店前からたくさんの方が行列を作り、中には開店から30分足らずで売切れてしまう商品も。「農協の苗が一番良い!」と毎年必ず訪れるという来場者も多く、抱えきれないほどの苗を購入する人で溢れていました。



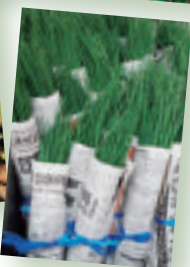
▲先頭が見えないほどの大行列ができた手稲地区。あまりの人の多さに入場制限がかかりました。



▲今年の苗物市の先陣を切った北札幌地区。たくさんの苗の前にじっくり品定め。



▲開店と同時に目当ての苗を目指します! 例年、厚別地区では長ネギの苗が1、2を争う人気商品。



▲倉庫いっぱいにはずらりと苗が並び篠路地区。キュウリの「黒サンゴ」が人気。



5月21日(土)~5月22日(日)
中央統括支店 1統括支店1協同活動

早朝から神宮に集まる人!人!人! 相談コーナー大好評

中央統括支店では、北海道神宮で行なわれた苗物市で苗物相談コーナーを設置し、イーグル会の会員が中心となり、苗の育て方など来店客からの質問に対応しました。この会場の苗物市のオープンは全9会場の中で最も早い朝7時に関わらず、6時半頃には会場前に列ができるほどたくさんの方が集まりました。相談コーナーでは、品種の違いや土作りに関するアドバイスをを行なうなど、大好評の内に幕を閉じました。



◀「おすすめの苗はどれ?!」
来場客と会話をしながら一緒に苗を選びました。



5月17日(火)～5月19日(木)
女性部厚別支部

北海道新幹線で東北へ 被災地を訪問し復興願う

女性部厚別支部(小林裕子支部長)では、部員16名が参加し東北地方への親睦旅行を行いました。仙台への移動には3月に開業した北海道新幹線を利用。NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の舞台になった三陸鉄道や浄土ヶ浜、世界遺産の橋野高炉跡などを見学し、宿では美味しい海鮮料理を堪能しました。

東日本大震災の被災地、気仙沼への訪問では、地元の語り部ガイドから震災当時の様子を聞くことができました。津波が襲った際の生々しい話に、部員の皆さんは真剣に耳を傾け、信じられないといった表情を浮かべていました。南三陸町や陸前高田市、宮古市などもバスの中から見学。少しずつ復興整備が進んでいるものの、以前は住宅や商店で埋め尽くされていた所が、広大な空き地になっている場所もまだまだ多く、改めて被害の甚大さを目の当たりにしました。被災地のさらなる復興を願い、東北を後にしました。(吉村特派員)



▲開業したばかりの北海道新幹線に乗車。



4月7日(木)～4月8日(金)
そ菜部会藻岩藤野支部

支部統合後、初めての管外視察

そ菜部会藻岩藤野支部(新井伸二支部長)では、部会員15名が参加し管外視察研修会を行いました。今回は、伊達市、壮瞥町の2ヶ所を視察。スナップエンドウや温泉熱を利用して育てるトマトなどに参加者の皆さんは興味津々の様子でした。視察終了後は、洞爺湖温泉に1泊し部会員相互の親睦を図り無事に終了しました。(川越特派員)



4月20日(水)
ひらぎし協友会・ひらぎし竿和会

ひらぎし協友会・ひらぎし竿和会では、合同で平成28年度春季磯釣りおよび山菜採りを実施しました。天候に恵まれた当日は、釣りグループと山菜採りグループに分かれ朝早くから行動開始。釣りに参加した方々は、日頃から磨いている腕の見せ所と色々な魚を釣り上げていました。また、山菜採りも今年は豊作で、行者にんにくやあずきなを袋一杯に収穫。お昼には、焼肉と一緒に採れたての山菜をいただきました。来年も皆さんが元気に参加できるよう約束を交わし、帰路につきました。(黒岩特派員)

磯釣り&山菜採り それぞれ楽しみ、成果も上々!



◀青空の下、全員で焼肉を楽しみました。





平成28年度 札幌市木造住宅耐震化補助制度のご案内

札幌市では平成28年度事業の一環として、大地震などの災害に備えるため、耐震診断員派遣事業の受付を5月11日（水）から開始しています。旧耐震住宅（※）の震災による倒壊・大破の被害と新耐震住宅を比較すると倒壊率の高さが際立っているとのデータもあることから、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、災害に強いまちづくり推進が目的です。つきましては、札幌市内の木造住宅に対し一定の要件により札幌市が無料で耐震診断員を派遣する「札幌市木造住宅耐震化補助制度」をご案内いたします。

※ 旧耐震住宅とは昭和56年5月31日以前に在来軸組工法で建築又は着工された住宅

平成28年度は、耐震診断が **無料** で受けられます！

木造住宅の地震に対する安全性を高め、災害に強いまちづくりを進めるため、木造住宅の所有者に対して、耐震診断については、要する費用の**全額**、耐震設計、耐震改修工事については、要する費用の一部を補助します。

補助率と補助額 ※事業にかかる費用について消費税を含みません

事業名	耐震診断	耐震設計	耐震改修工事
事業にかかる費用に対する 補助率	無料	2 / 3 [※]	1 / 3 [※]
限度額		住戸1戸あたり 10万円	建物1棟あたり 80万円

補助対象となる住宅

- ① 札幌市内にある木造の戸建住宅、長屋、共同住宅
 - ② 昭和56年5月31日以前に、在来軸組工法（※）で建築又は着工されたもの
 - ③ 地上階数が3以下で、木造部分の階数が2以下のもの
 - ④ 住宅部分の床面積が延べ床面積の1/2以上のもの
- ※ 在来軸組工法：柱、梁などの主要構造部が木材の軸組によってつくられたもの。プレハブやパネル構法は含まない。

申込みできる方

補助対象の住宅を所有する者（法人にあっては代表者）

受付期間

耐震診断：平成28年5月11日（水）から平成29年1月31日（火）

耐震設計 } 平成28年5月11日（水）から平成28年12月16日（金）

耐震改修工事 }

※ ただし、申込件数が予定件数に達した場合は、受付を締め切ります。

なお、今回の補助制度は申込み件数に限りがあります。お早めに下記のお問合せ先へ詳細等をご確認下さいませようお願いいたします。

【補助制度のお問合わせ・お申し込み】

札幌市役所都市局建築指導部建築安全推進課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎2階 電話 011-211-2867

<http://www.city.sapporo.jp/toshi/k-shido/taishin/index.html>

総代会開催のお知らせ

下記の日程で、第18回通常総代会が開催されます。総代になられている組合員の皆さまは、事前にお渡ししております資料をご持参の上、ご出席くださいますようお願いいたします。



日時:平成28年6月30日(木) 午後2時
(受付:午後1時30分~)

会場:共済ホール (中央区北4条西1丁目共済ビル6階)

伝

言

板

今年もやります! 廃プラ回収



J A さっぽろでは、今年も農業用廃プラスチックの集団回収を予定しております。

農家組合員の皆さまは、該当する廃プラを「農ビ」と「農ポリ」に分け、規定の方法でまとめて、スムーズに処理できるよう早めに準備しておいてください。

廃プラは、例年通り指定された日時に回収場所へ運搬していただきます。また、処理費用は個人負担となりますのでご了承ください。

各地区の回収場所および回収日は決まり次第、本誌にてお知らせいたします。

理事会だより

◆ 第18回臨時理事会

平成二十八年四月二十日(木) 午前十時より本店役員会議室において第18回臨時理事会が開催された。

● 協議事項

一、決算手当の支給について
平成二十七年年度決算実績について説明した後、正・準職員各〇五ヶ月分の決算手当を支給したい旨が説明され、可決決定。(閉会:午前十時 十五分)

◆ 第19回定例理事会

平成二十八年四月二十八日(木) 午後時より本店役員会議室において第19回定例理事会が開催された。

● 委員会等報告事項

- 一、金融・共済委員会
- 二、経済・相談委員会
- 三、総務・企画委員会

● 協議事項

一、農業協同組合検査(道常例検査) 指摘検査事項改善状況について

「農業協同組合検査指摘事項改善状況等調査報告書」に基づき、平成二十七年年度に実施された行政による常例検査での指摘事項に対する平成二十七年年度末時点における改善状況が説明され、可決決定。

二、平成二十七年年度事業結果および剰余金処分案並びに『固定資産リスク準備積立金要領』の部改正について

「平成二十八年三月末財務状況報告

告」等に基づき、主要事業の年度末実績、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、繰延税金資産の回収可能性、並びに『固定資産リスク準備積立金要領』の部改正内容について、詳細に説明され、可決決定。

(総務・企画委員会付議案件)
三、中期三ヶ年経営計画の平成二十七年年度総括について

中期三ヶ年経営計画の平成二十七年年度総括について未達項目を中心に総括内容が説明され、可決決定。

(金融・共済委員会/経済・相談委員会/総務・企画委員会付議案件)
四、『定款』の部変更新旧対照表(案)

に基づき、農業倉庫業法の廃止および改正農協法並びに役員定数の見直しその他字句の修正等に伴う所要の整備である事が説明され、可決決定。

五、『広域役員選考委員会規程(学識経験・員外・女性役員の選考)』の部改正について

「広域役員選考委員会規程(学識経験・員外・女性役員の選考)」の部改正新旧対照表(案)に基づき、農協法の改正、並びに役員体制協議会において、広域役員候補者の内、女性枠の候補者についての選考方法を規定化する旨の承認がされた事に伴う所要の整備である事が説明され、可決決定。

六、『規程類管理規程』の部改正について

「規程類管理規程」の部改正新旧対照表(案)に基づき、規程の改廃に係る条文の新設並びに「別表第二」の改正権限者を組合長と定める事に伴う所要の整備である事が説明され、可決決定。

七、『宅地等供給事業実施要領』の部
改正について

「宅地等供給事業実施要領」の部
改正新旧対照表(案)に基づき、施
主代行方式による、施設建設事業につ
いてリフォーム取扱要領の追加に伴う
所要の整備である事が説明され、可
決決定。

〔議案第八号から第十八号まで〕括提案
八、『コンプライアンス規程』の部改正
について

九、『事務リスク管理規程』の部改正
について

十、『個人情報取扱規程』の部改正に
ついて

十一、『反社会的勢力等への対応に關
する規程』の部改正について

十二、『苦情・紛争処理規程』の部改
正について

十三、『組織規程』の部改正について

十四、『情報セキュリティ基本規程』の
部改正について

十五、『利益相反管理規程』の部改正
について

十六、『JAバンク利用者説明管理規
程』の部改正について

十七、『子会社等管理規程』の部変更
について

十八、『不祥事対応要領』の部改正に
ついて

機構改革および業務実態に準じる
所要の整備であることが説明され、可
決決定。

十九、『JAバンク利用者保護等管理
規程』の部改正について

「JAバンク利用者保護等管理規
程」の部改正新旧対照表(案)に基
づき、機構改革に伴う所要の整備で
ある事が説明され、可決決定。

二十、『コンプライアンス・マニュアル』の
部変更について

「コンプライアンス・マニュアル」の部変
更新旧対照表(案)に基づき、機構
改革並びに関連法令等の改正、およ
び当組合関連規程および要領等の改
正、変更に伴う所要の整備であること
が説明され、可決決定。

二十一、『従業員個人情報取扱規程』
の部改正について

「従業員個人情報取扱規程」の部
改正新旧対照表(案)に基づき、雇
用管理分野における個人情報保護に
関するガイドラインの改正に伴う所要
の整備である事が説明され、可決決
定。

二十二、『特定個人情報取扱規程』の
部改正について

「特定個人情報取扱規程」の部改
正新旧対照表(案)に基づき、雇用
管理分野における個人情報保護に關
するガイドラインの改正等、並びに取
扱事務の範囲にJAが受託する労働
保険事務に関する項目が追加された
事に伴う所要の整備である事が説明
され、可決決定。

二十三、『大口融資取り扱いについて
別冊資料―融資案件(新規案件・
貸出金累計額五億円超)―に基づき、
厚別支店扱いの新規案件件について、
申し込み事項、取り組み経過、保全
状況等の詳細が説明され、可決決定。

二十四、『平成二十八年年度理事に對する
貸付金に係る包括事前承認に
ついて

「平成二十八年年度理事に對する貸付
金に係る包括事前承認について(案)」
に基づき、包括事前承認の目的、およ
び対象となる貸付金が昨年度より追
加された事等が説明され、可決決定。

二十五、『平成二十八年年度貸出金利率
の最高限度並びに信用供与
等の限度額の設定について

「平成二十八年年度貸出金利率の最高
限度並びに信用供与等の限度額設定
について(案)」に基づき、平成二十八
年度の貸出金利率の最高限度、信用
供与等の限度額について説明がされ
可決決定。

二十六、『平成二十八年年度組合と理事
が結ぶ契約(資産管理事業)
に係る包括事前承認について

「理事に對する資産管理事業の契約
に係る包括事前承認について(案)」に
基づき、資産管理事業に伴い包括事
前承認とする理事と行なう各種契約
について、昨年度との変更点を中心に
説明され、可決決定。

二十七、『平成二十八年年度販売手数料
率の設定について

「平成二十八年年度販売手数料率
(案)」に基づき、昨年度との変更点
が説明され、可決決定。

二十八、『平成二十八年年度購買品値入
率の設定について

「平成二十八年年度購買品値入率覽表
(案)」に基づき、昨年度との変更点
が説明され、可決決定。

二十九、『第十八回通常総代会の提出
議案について

(経済・相談委員会付議案件)
第十八回通常総代会の提出議案お
よび参考事項について説明され、可決
決定。

三十、『報告事項
内部監査結果報告(平成二十七
年度第四四半期)

二、平成二十七年内部監査業務活

動報告
三、平成二十七年コンプライアンス・
プログラムの取り組み状況について

四、平成二十七年下期の相談・苦
情等の発生状況について

五、コンプライアンス事故報告について

六、反社会的勢力との取引排除に係
る対応状況について

七、平成二十八年年度統括支店協同
活動計画概要について

八、組合員加入促進運動結果報告

九、子会社等に対する信用供与等額
の実績報告

十、平成二十七年年度余裕金等運用実
績報告

十一、平成二十八年年度第四半期余裕
金等運用方針について

十二、資産自己査定結果の報告

十三、『農業経営事業について
(経済・相談委員会付議案件)

十四、労働保険事務組合保険料徴
収・納付状況報告

(経済・相談委員会付議案件)
十五、地区別懇談会開催日程について

十六、三月末組合員加入・脱退状況
報告

十七、四月の動静と五月の予定につ
いて
(閉会・午後四時十二分)

JAさっぽろDATA

(平成28年4月末業務実績) (平成28年3月末業務実績)

組合員数	正組合員	3,932名	正組合員	3,929名
	准組合員	27,619名	准組合員	27,467名
	合計	31,551名	合計	31,396名
出資金残高	49億4千万円		49億4千万円	
販売取扱高	2億5千1百万円		20億2千3百万円	
購買供給高	8千1百万円		12億6千6百万円	
貯金残高	2,768億5千3百万円		2,764億円	
融資残高	893億6千9百万円		893億7百万円	
共済保有高	6,088億1千5百万円		6,090億2千9百万円	
施設建設取扱高	0万円		11億円5千6百万円	
管理受託戸数	4,071戸		4,075戸	

※ 出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

おくやみ

下記の正組合員の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。(4月16日～5月15日)

支店名	氏名	享年	月日
菊水元町	井島 貞夫さん	95才	5/1
手稲	大瀧 信吉さん	83才	4/18
	長坂 靖子さん	83才	4/29
西町	齊藤 隆さん	67才	5/13
月寒	和田 功さん	77才	5/10
	水野 ユキさん	97才	5/11
厚別	樋口 重光さん	78才	5/12
篠路	黒田 寿夫さん	48才	4/28
	新藤 ふち子さん	85才	5/6
新琴似	世戸 モトコさん	69才	4/18

第28回JA北海道大会パネルディスカッション

昨年11月に開催した、第28回JA北海道大会では「北海道農業とJAグループに期待すること」をテーマにパネルディスカッションを行ないました。パネリストの皆さんから頂いた提言をシリーズでご紹介します。

第4回は、北海道農協青年部協議会参与 黒田栄継氏の提言です。

「550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けた組合員の役割

黒田 栄継 氏
北海道農協青年部協議会 参与
全国農協青年組織協議会 参与



「力強い農業」、「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

昨年、全青協会長の立場でJAグループ自己改革の審議に関わった。その中で、国民合意を形成していこうという時の世間からの風当たりは皆さんの想像以上のものがあつた。農協改革は、なんとなく落ち着いているような雰囲気だが、5年経ったら色々また始まる。何も終わっていない。その中で、今回の大会で何を決めて何をを目指すか。現場の青年部としても自己改革を作っていくなかで、何を、何を望み、自分たちは何をつくるのかを議論してきた。やはり、農協の営農経済の事業を改めて確立していこうということになる。北海道は、全国的にみるとダントツにできているが、改めて北海道が全国のイニシアチブ(主導権)を取るくらいのことをしていく。そのためには、職員、役員だけでなく組合員がしっかりそこに気づいて、改めてJAグループ全体でやるという雰囲気をつくっていくことが大事。組合員教育という言葉に怒り出す組合員も非常に多いが、避けては通れない。私も青年部参与として関わっているので、青年部でもしっかり共有認識をもって今後一緒に事業をつくっていきたい。

「550万人と共に創る」

550万人と謳ったからにはかなりのことを展開しないとイケない。多くの人と繋がるためには、皆が力を出していかないとイケない。組合員と一体となり、全体で前に進む姿を作っていきたいというのが、現場のひとりとしての決意だ。農協は良いところがたくさんあるし、私もそれにお世話になってきた。しかし、良いところは、実は私たちにとっては当たり前にあるもの。良いと改めて考える必要がなく、わざわざそれを褒めることもなかった。農協改革がここまで押し込まれた理由の1つに、自分たちの良さを自分たちで語れたかということがあつたかと思う。内部には気付かない。色々な人と関わることで自分たちの価値観が明確になる。消費者に農業の本当の価値がしっかり伝わっていないのではないかと感じる。農業者一人一人が価値を伝えていく。これだけ距離があいてしまった社会では、絶対的に私たちがやらないと次のステップに進めない。大会議案の実践方策に何をやるかが書かれているのは本当に素晴らしい。是非、これを色々な人と手を組んで実現できたら良いなということを改めて思っている。

最後に一言

550万人とつながるという取り組みについて、全道各地青年部また女性部、本当にたくさんの取り組みをしている。JAグループ全体でその取り組みを広げていき、私たち青年部、女性部は、みなさんと一緒にやっていくので、頑張っていきましょう。

地域の詳しい情報をお届け！ 支店広報誌「かわら版」



各支店で制作している支店広報誌「かわら版」をご存知ですか？

地区組合員の皆さんと支店職員の絆をより深めるために、支店職員がアイデアを出し合いながら手作りしており、広報誌では伝えきれない地域のより詳しい情報を掲載しています。発行は不定期ですが、年2回以上の発行を目標としています。発行月には該当地区の広報誌に折り込んでお届けいたしますので、是非ご覧ください。

さとらんど さとらんど市場オープン！



石狩管内で生産された新鮮な農畜産物を取り扱う、サッポロさとらんど交流館の直売所「さとらんど市場」が今期の営業を開始しました。

JAさっぽろからもほうれん草やミズナ、コマツナなどたくさんの野菜を出荷しており、品目はこれから徐々に増えていく予定です。安全・安心な地元産の野菜が並ぶ直売所にぜひお立ち寄りください。



さとらんどセンターにて、様々な講座を実施中！ 6月11日(土)から受付開始！

陶芸講座

手回しろくろで器作り



日時：6月24日(金)
10時～12時
定員：15名
費用：2,800円

ハーブ料理講座

ハーブガーデン見学と旬のハーブで料理作り



日時：6月28日(火)
10時～12時
定員：16名
費用：1,300円

※申込みは、さとらんどセンターへTELまたは直接受付ください。

【お問い合わせ】サッポロさとらんど 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2 TEL(011)787-0223



新鮮食材で 楽しく クッキング

料理研究家
波多野充子



ペンネアラビアータ・ アスパラ風味

アラビアータとは、トマトソースに赤唐辛子の辛味を利かせたソースで、語源は「怒りん坊」とか。トマトの酸味と唐辛子の辛味がおいしさの秘訣なので、あまり火を通さず12～13分で出来上がるのもうれしいパスタ。アスパラガスの色と香りもお楽しみください。

●材料 (2人分)

ペンネ	160g
トマト水煮缶	1個
ニンニク	1片
赤唐辛子	1本
グリーンアスパラガス	3～4本
ブラックオリーブ	6粒
エクストラバージンオリーブ油	大さじ2
塩	適量

●作り方

- ① ニンニクは芯を除き粗みじん切り、赤唐辛子は種を除き細切り、グリーンアスパラガスは根元の堅い部分の皮をむき3～4等分にする。種なしのブラックオリーブを輪切りにする。
- ② フライパンにトマトを手でつぶしながら入れ、ニンニク、赤唐辛子、エクストラバージンオリーブ油大さじ1を加え中火で煮る。グツグツし始めたらオリーブを加えて弱火で煮る。甘味が出てきたら、塩少々とグリーンアスパラガスを加え火が通ったらソースは完成。煮詰まり過ぎた場合は、ペンネのゆで汁を加える。
- ③ ②と同時に、たっぷりのお湯に塩を入れ表記の時間でペンネをゆでる。
- ④ ゆで上がったペンネを②に入れて手早くソースとあえ、エクストラバージンオリーブ油大さじ1を絡めて火を止め、熱々をいただく。

(1食当たり 約485kcal)

オリジナル
レシピ大募集!

あなたの手料理のレシピを広報誌にのせませんか?
お近くの支店または本店広報課までお気軽にお声かけください。